【3級・解説】

リスニング

PARTE I (N 1 – N 4)

N 1　d　【正答率】70.6%

M1: Allora signora, oggi come li facciamo? Solo una spuntata come al solito?

F1: No, guardi, fa così caldo in questi giorni… Sul collo non li sopporto più, me li tagli corti.

M1: Ma sì, è meglio cambiare ogni tanto. Un bel caschetto Le starà proprio bene.

【訳】(男1)それではお客様、今日はどういう風にいたしましょう？　いつものように毛先のカットだけですか？(女1)いいえ、ほら、ここ数日こんなにも暑いでしょう……。首にかかるこれらには私はもう耐えられません、短く切ってください。(男1)そうですとも、時々変えられる方がよろしいですよ。素敵なボブカットがお客様にはよくお似合いでしょう。

N 2　b　【正答率】69.5%

M2: È la prima volta che se ne fa uno?

F1: Sì, e Le confesso che sono un po' nervosa… non amo molto gli aghi.

M2: Non si preoccupi, vedrà che non ci sarà problema. Il disegno che ha scelto è piccolo e sulla spalla non si sente molto dolore. Una mezz'oretta ed è tutto finito. Poi, però, per qualche giorno lo tenga coperto, mi raccomando.

【訳】(男2)これを1つ入れられるのは初めてですか？(女1)ええ、それで正直に言いますと、ちょっと緊張しているんです……針はあまり好きではないので。(男2)ご心配いりません、問題ないことがお分かりになりますよ。お客様がお選びの柄は小さいし、肩ではあまり痛みは感じられません。30分足らずですっかり完了します。ただしその後、数日間はおおっておいてくださいね、くれぐれも。

N 3　a　【正答率】78.4%

M3: Signora Bianchi, buongiorno. Il solito controllo o c'è qualche problema?

F1: No, no, nessun problema. Ho solo notato una piccola macchia su un dente e così, visto che volevo fare anche la pulizia, ho pensato

di farmi controllare.
M3: Certo. Vediamo subito. E poi facciamo la solita pulizia.
【訳】(男3)ビアンキさん、こんにちは。いつもの検診ですか、それとも何か問題が？(女1)いえいえ、何の問題もありません。ただ1本の歯に小さなしみを発見したので、クリーニングもしていただきたかったものですから、診ていただこうと考えたんです。(男3)いいですとも。すぐ拝見しましょう。その後でいつものクリーニングをしましょう。

N 4　c　　【正答率】87.6%
F2: Oggi facciamo solo le mani, o anche i piedi?
F1: Solo le mani. Purtroppo non ho molto tempo. Magari per la pedicure vengo un altro giorno…
F2: Ma certo, signora. E… che colore facciamo?
F1: Lei cosa mi consiglia?
F2: Un bel rosa acceso. Con la sua abbronzatura va benissimo.
F1: D'accordo.
F2: Metta le mani nell'acqua, io torno fra qualche minuto.
【訳】(女2)今日は手だけをしましょうか、それとも足も？(女1)手だけを。私はあいにくあまり時間がないんです。何ならペディキュアにはまた別の日に来ます……。(女2)結構ですとも、お客様。それで……何色にいたしましょう？(女1)あなたは私に何をお薦め？(女2)鮮やかなピンクです。お客様の日焼けしたお肌にとてもよく合います。(女1)それで結構です。(女2)両手を水に浸してください、私は数分後にまた参ります。

PARTE II　(N 5 – N 7)

N 6　c　　【正答率】73.4%
M: Qualcuno ha visto i miei occhiali? Li ho lasciati qui un momento fa, sul tavolo, insieme a un libro. Non trovo più né gli occhiali né il libro.
F1: I tuoi occhiali? No, non li ho visti.
F2: Ah, sì, scusa, li ho spostati io. Il libro l'ho rimesso nella libreria e gli occhiali... sul comodino accanto al tuo letto.
M: Ah, ecco. Me lo dovevo immaginare. La solita mania di tenere tutto in ordine. Uno non può lasciare una cosa in un posto...
DOMANDA: Dove sono adesso i suoi occhiali?
【訳】(男)誰か僕の眼鏡を見かけなかった？　僕はそれら*をついさっきここ、テーブルの上に、1冊の本と一緒に置いたんだ。もう眼鏡も本も見つか

らないんだよ。(女1)あなたの眼鏡？　いいえ、私はそれらを見なかったわ。(女2)ああ、そうよ、ごめんなさい、それらは私が動かしたわ。本は本棚に戻して、眼鏡は……あなたのベッドの横のナイトテーブルの上に。(男)ああ、そら来た。察しがついてもよさそうなものだった。例の、何でも整頓しておきたい病だ。おちおち物もどこかに置いておけやしない……。
(問)この人の眼鏡は今どこですか？
*イタリア語では眼鏡(occhiali)は複数扱いですので、日本語もあえて「それら」と複数にして表示しています。

PARTE III　(N 8 – N 10)

N 8　b　　【正答率】87.2%
F1: Alberto! Alberto!
F2: Che c'è signora? Che succede?
F1: Mio figlio! Mi sono girata un attimo ed è scomparso! Era qui fino a un momento fa…
F2: Adesso lo cerchiamo, non si agiti. Al supermercato capita, i bambini si distraggono, succede. Com'è suo figlio?
F1: Ha tre anni, è piccolino… Ha i capelli e gli occhi scuri. Oggi aveva una maglietta bianca con il disegno di un cagnolino, i pantaloni grigi e le scarpe da ginnastica. Ma dove sarà finito?
F2: Non si preoccupi, signora, vedrà che lo troviamo subito.
DOMANDA: Qual è Alberto?
【訳】(女1)アルベルト！　アルベルト！(女2)お客様どうされました？　何があったんです？(女1)私の息子が！　私が一瞬よそ見をしたら、姿が見えなくなったんです！　つい今までここにいたんです……。(女2)今からお子さんを探しましょう、興奮なさらずに。スーパーマーケットではよくありますよ。子供は気が散るんです、よくあることです。息子さんはどんな様子ですか？(女1)3歳で、小柄です……。黒っぽい色の髪と眼をしています。今日は子犬の柄入りの白いTシャツ、グレーのズボン、それにスニーカー姿でした。いったいどこに行ってしまったんでしょう？(女2)ご心配なく、きっと私たちはすぐに彼を見つけますよ。
(問)どれがアルベルトですか？

PARTE V （N 14 – N 16）

N 14　b　　【正答率】79.4%
F: E questi fiori?
M: Ti piacciono? Sono per te, Marina!
F: Per me? E come mai?
M: Come “come mai”? È il tuo compleanno, no?
F: Il mio... compleanno?! Ma non è mica oggi!
M: Ma… non è il 23?
F: Sì, ma il 23 di maggio, non di aprile! È il mese prossimo!!
【訳】(女)これらの花は？(男)君の好みかな？　これらは君にだよ、マリーナ！(女)私に？　でも一体どうして？(男)「一体どうして」ってどうして？　今日は君の誕生日だろう？(女)私の……誕生日?!　でも今日じゃないわよ！(男)でも……23日じゃないの？(女)ええ、でも5月の23日よ、4月のじゃないわ！　来月よ!!
マリーナが生まれていないのは：a) 23日　b) 4月　c) 5月

N 15　b　　【正答率】55.0%
M: Dai, suona, la prossima è la nostra.
F: Scendiamo in piazza Tasso? Non ci conviene a quella dopo?
M: No, dai, scendiamo qui, così passo all’edicola a comprare il giornale.
F: Ah, d’accordo.
【訳】(男)さあ、鳴らして、次が僕たちのだ。(女)私たち、タッソ広場で降りるの？　その次でが都合いいんじゃない？(男)いや、さあ、ここで降りようよ、そうしたら僕は新聞を買いに新聞販売スタンドに寄るから。(女)ああ、分かったわ。
彼らが今いるのは：a）車の中　b）バスの車内　c）地下鉄の中

PARTE VII　(N 21 – N 26)

Secondo ascolto　(N 24 – N 26)

F: Quella dei Giorgini è una famiglia all'antica. Vivono in campagna, in un vecchio casolare contadino. Ci sono nonno Piero e nonna Silvia, i loro due figli, Sandro e Francesco, con le loro mogli, e poi i nipoti. Sì, perché Sandro e sua moglie Paola hanno due bambini, due gemelli di 6 anni e anche Francesco e sua moglie Lucia ne hanno tre, due maschi di 8 e 5 anni e una femmina, la più piccola della famiglia, che di anni ne ha solo 3. Di famiglie così ormai in Italia non ce ne sono rimaste molte.

【訳】(女)ジョルジーニ一家は昔風の家族です。彼らは田舎に、古い農家に住んでいます。そこにはピエーロおじいさんとシルヴィアおばあさん、その 2 人の息子のサンドロとフランチェスコ、彼らの妻たち、それに孫たちもいます。そう、なぜならサンドロとその妻のパーオラには 2 人の子供が、6 歳のふたごがいますし、フランチェスコと彼の妻のルチーアにも 3 人の子供、8 歳と 5 歳の 2 人の男の子と、一家の最年少で歳がまだほんの 3 つの女の子がいるからです。このような家族はもうイタリアには多くは残っていません。

N 24　a　　【正答率】70.2%
【訳】ピエーロおじいさんとシルヴィアおばあさんには 2 人の息子がいる

N 25　b　　【正答率】63.5%
【訳】サンドロとパーオラには 6 歳の女の子がいる

N 26　b　　【正答率】59.9%
【訳】イタリアにはジョルジーニ一家のような家族がたくさんある

筆記

PARTE I (N 27 – N 48)

N 37/38
【訳】その時、サンドロは救急車で病院に行きました。なぜなら、自転車から落ちて足を骨折していたからです。
N 37　d　　【正答率】82.3%
【解説】quella volta「その時」という表現から、過去のことが話題だと分かります。サンドロが救急車で病院に行ったのは、いつもとは違う一回だけの完結した出来事なので、時制が直説法近過去の d) è andato が適切です。なお、a) andava の直説法半過去は、過去における継続した状態や習慣的な行為などを表します。
N 38　d　　【正答率】53.2%
【解説】「～を骨折する」は再帰動詞を使って〈rompersi + ～〉と表現します。サンドロが骨折したのは、病院に行く前の出来事です。過去の基準となる時点より以前の出来事には、直説法大過去を用います。再帰動詞の場合、複合時制の助動詞は essere ですので、d) si era rotto が正解です。

N 39/40
【訳】私がシャワーを浴びていた時に、誰かがドアのベルを鳴らしました。
N 39　d　　【正答率】77.0%
【解説】〈stare + ジェルンディオ〉は動詞の進行形で、進行中の行為や継続中の状態を表します。ドアのベルが鳴った時に、「私」はシャワーを浴びている最中だったという文になれば自然です。したがって、動詞 fare の「私」を主語とする過去進行形 stavo facendo の d)が正解です。
N 40　c　　【正答率】8.2%
【解説】suonare は自動詞として「鳴る」、他動詞として「鳴らす、奏でる」を表します（何を鳴らすか文脈から分かる場合、直接補語なしでも使われます）。動詞の 3 人称複数形は、特定の主語を伴わない場合、「（不特定・一般の）人々は～する」という意味になります。この用法で他動詞の suonare を使うと、誰かがドアのベルを鳴らすことを表現できます。その直説法近過去 hanno suonato が文脈に合うので、c)が正解です。

N 41/42
【訳】ジョルジ夫妻はヴィチェンツァに移り住むことに決めました。というのは、娘が結婚して、現在そこに住んでいるからです。
N 41　d　　【正答率】40.8%
【解説】文脈から、ジョルジ夫妻の娘と考えるのが自然なので、「彼らの、彼

女らの」を意味する所有形容詞 loro が適切です。ここの figlia「娘」のような親族を表す単数の名詞が、前に所有形容詞を伴うときは定冠詞を付けませんが、loro のときだけは定冠詞を付けます。よって、d) la loro が正解です。

N 42　b　　【正答率】63.1%

【解説】ジョルジ夫妻がヴィチェンツァに移り住むのは、そこに娘が住んでいるからだと考えられます。小詞 ci は、前述の場所を指して「そこに、そこへ」を意味しますが、動詞の前に置くので、ここでは不適切です。他の 3 つの選択肢は副詞で、lì は話し手から遠い場所「そこに、そこへ」、qui と qua は話し手に近い場所「ここに、ここへ」を意味し、動詞の後に置くことができます。話し手は、ジョルジ夫妻がヴィチェンツァに andare a vivere「住みに行く、移り住む」と表現しており、ヴィチェンツァから遠い場所にいることが分かります。したがって、b) lì が正解です。

N 43/44

【訳】いつも何でも散らかさないで、アルベルト！　少しは片付けてよ、お願い！

N 43　c　　【正答率】74.1%

【解説】文脈から、「～するな、～してはいけない」を意味する、動詞の命令法が適切だと分かります。また、Alberto という呼びかけから、親称の tu を使って話す間柄だと判断できます。tu に対する否定の命令法は、〈non + 動詞の不定詞〉なので、c) non lasciare が正解です。

N 44　b　　【正答率】74.5%

【解説】アルベルトに対して、片付けるようにお願いする文になると自然です。「片付ける、整理する」は〈mettere in ordine + ～〉と表現するので、b)が正解です。

N 45/46

【訳】「向こうの方のあの鳥たちを見て。ハヤブサだよね？」「あそこのあれ？違うよ、ただのカラスだ！」

N 45　d　　【正答率】57.1%

【解説】定冠詞と同じような変化をする指示形容詞 quello「あの」は、母音で始まる男性複数の名詞 uccelli に付くとき、quegli となります。

N 46　c　　【正答率】47.2%

【解説】話し手と聞き手から離れている場所を指す là「あちら、あそこ」と共に用いる指示代名詞は、questo「これ」ではなく quello「あれ」が適切です。したがって、男性複数の名詞 uccelli の代わりをする、c) Quelli が正解です。なお、a) Quei と d) Quegli は、名詞の前に付ける指示形容詞の形なので、ここでは適切ではありません。

N 47/48
【訳】君が私に言ったことは、私を本当に怒らせました。すぐに私に謝りなさい！
N 47　c　　【正答率】54.3%
【解説】文脈から、空欄には関係代名詞 che の先行詞となる語が必要だと分かります。指示代名詞 quello には、「あの人、あれ」という遠くの人や事物を指し示す用法の他に、関係代名詞の先行詞として単に「こと、もの」を表す用法があります。これが文脈に合うので、c)が正解です。なお、b)の cosa は女性名詞として「こと、もの」を意味しますが、関係代名詞の先行詞となる時は、通常、冠詞や指示形容詞などを伴います。また、d)の quanto は先行詞を含む関係代名詞として「～する（ところの）こと[もの]」を意味し、quello che と言い換えることができます。
N 48　b　　【正答率】58.2%
【解説】〈chiedere scusa a + 人〉という形で「人に許しを乞う、謝る」を意味します。ここでは親称の tu を使って話をする相手に、「私に許しを乞いなさい」と命令する文になれば自然です。したがって、chiedere の tu に対する命令法 chiedi の末尾に、間接補語人称代名詞 mi「私に」が付いた、b) Chiedimi が正解です。

PARTE II (N 49 – N 55)

N 49　d　　【正答率】76.2%
【訳】今朝、バスで、私の横に外国人が座っていました。たぶんアメリカ人です。ニューヨーク・タイムズを読んでいました。【解説】4 つの選択肢は形容詞としても使われる語（に不定冠詞が付いたもの）で、その意味は、a)の estero は「外国の」、b)の estraneo は「無関係の、異質な」、c)の strano は「奇妙な、変な」、d)の straniero は「外国の」です。空欄に「外国人」を表す語を入れると、自然な文意になります。冠詞を伴った名詞として「外国人」を意味するのは straniero ですので、d)が正解です。なお、estero は名詞としては、「外国」を意味します。

N 50　b　　【正答率】13.8%
【訳】この劇場のオーケストラのレベルは、本当に優れています。【解説】主語の livello「レベル」を描写する叙述補語として適切なのは、「優れた、良い」を意味する形容詞の buono ですので、b)が正解です。なお、a) bene は「上手に」という意味の副詞、または「良いこと」という意味の名詞、c) bravo は「（人について）有能な、優れた」という意味の形容詞、d) bello は「美しい、（見た目などが）良い」という意味の形容詞で、文脈に合いませ

ん。

N 51　d　　【正答率】45.0%
【訳】私が小包を送る相手の人は、受取人です。【解説】4 つの選択肢のうち、文脈に合うのは、「受取人」を意味する d) destinatario です。なお、a) destino は「運命」を意味し、b) destinato と c) destinante は、他動詞 destinare「運命づける、(郵便物などを)～宛てにする」の過去分詞と現在分詞です。

PARTE III (N 56 – N 62)

【訳】若い 2 人連れの旅行者が、泊まっていた B&B から夜中に、規定の宿泊料金を支払わずに逃亡しました。これが起こったのはバーリ県コンヴェルサーノです。この宿のオーナーは当然この出来事に立腹して、深夜に起こり監視カメラで撮影されたこの逃亡の動画を、フェイスブック上で公開しました。2 人の若者の顔は、プライバシー上の理由でしかるべくぼかされていますが、「他 B&B への警告」と題されたこの動画を公開することは、他の同業者たちに警戒を促すために必要でした。それはともかく、高額でも何でもない請求額のためにこのような大胆不敵な逃亡劇とは奇妙です。支払額はたった 40 ユーロだったのですから。とはいえ真夏には、払わないためならあらゆる手を編み出し、ずるく立ち回ろうとする人間には事欠きません。この若い男女は、1 泊だけの一部屋を求めて、また翌朝部屋を引き払う時に支払うと約束して、前日の晩に現れていました。彼らは深夜にバルコニーから飛び降りて逃げたので、この約束は守られませんでした。また彼らは身分証明書も置いていかなかったため、彼らの行方を突き止めるのはむろん、容易ではないでしょう。

N 56　a　　【正答率】85.8%
【訳】2 人の旅行者は支払をせずに立ち去った

N 57　b　　【正答率】51.8%
【訳】この 2 人連れはその後みずからの逃亡の動画を SNS に投稿した

N 58　a　　【正答率】66.0%
【訳】室料は大して高くなかった